「大阪府安威川流域の治水は本川上流ダム建設優先から流域全体の堤防強化、河川改修、堆積土砂除去、ため池活用と内水対策最優先を」

安威川上流に大阪府が着工を強行したダム本体工事が進むにつれ、安威川流域の安威川本川、支川の茨木川、佐保川、勝尾寺川、大正川、箕川などの流域住民や関係者から、「今年の夏は８月１０日をはじめ異常降雨があったが、予測を上回る各河川の水位が上昇した。しかしその主たる原因は堆積土砂によるものではないか、大阪府はこの数年堆積土砂の除去工事サボっているのではないかとの意見や疑問が寄せられましたので、次の資料の情報公開請求を行いました。その結果について報告します。

情報公開請求文書

安威川本川、茨木川、佐保川、勝尾寺川、大正川、箕川など安威川流域諸河川の２０１４年度土砂しゅんせつ予算と執行済みと予定ヵ所一覧と数量

結　果

一. 大阪府は安威川本川と支川の堆積土砂要対応箇所図を作成していることが分かりました。１．要対応箇所（地先の危険度、河積阻害率、その影響度（土地利用状況と堆積土砂１０００㎥以上の箇所を対象に除去を計画的に実施する箇所で概ね５年以内を目途に順次実施する箇所）と２．緊急対応箇所（とくに緊急を要する箇所で概ね３年以内に順次実施する箇所）に区分され、２．は佐保川（勝尾寺川合流点～山西橋)、勝尾寺川（山下橋～清水橋)、茨木川（幣久良橋下流)、茨木川（名神高速道路～春日橋)。１．は本川（名神高速道路～宮ノ前通学路)、本川（千歳橋上流)、本川（山科橋上流)、本川（玉島橋上流)、本川（阪急京都線～安威川歩道橋）と圧倒的に本川よいちり支川が危険な状況が放置されていることが分かりました。

二．２０１４年度の実施又は実施予定箇所は本川（名神高速道路～宮ノ前通学路）－実施済、茨木川（名神高速道路～春日橋)、本川（千歳橋上流)、勝尾寺川（山下橋～清水橋）です。

三．大阪府の２０１４年度の安威川ダム本体工事等の予算は約５０億円です。一方、大阪府が管理する大阪府内全河川の堆積土砂除去予算は同じく９．７億円と桁が違います。私達は「大阪府安威川流域の治水は本川上流ダム建設優先から流域全体の堤防強化、河川改修、堆積土砂除去、ため池活用と内水対策最優先を」と主張してきましたが、その正統性が証明されました。